

令和3年 11月 23日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和3年 11月 19日（金）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	2人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

【行政からの伝達事項】

- ・コロナウイルス感染予防対策として、基本の感染対策と体調管理を今後も行っていくことをお願いしたい。
- ・第3回目のコロナウイルスワクチン接種については、情報が入り次第伝え準備してく。

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名 男性 0名）

平均年齢 91歳 平均介護度 2.4（1～5）

【活動状況】

- ・ 散歩・ドライブ・日光浴・訪問カット
- ・ 新聞折り・書写・ピアノ演奏・漢字ドリル・折り紙・編み物
- ・ 体操・角寿司作り
- ・ 季節行事～・しその実の佃煮作り・さつま芋掘り・冬野菜植え・紅葉狩り

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故～2件（薬飲み忘れ・・・1件 入居者間のトラブル・・・1件）
- ・ ヒヤリハット～1件（転倒の危険・・・1件）

【その他】

* 訪問歯科診療・歯科衛生士定期的に訪問

残歯のある方は歯石除去・歯科衛生士の方が定期的に訪問し磨き残しの箇所や歯垢除去等を行われている。歯科衛生士の方より義歯の管理や磨き方等、丁寧なアドバイスがあり助かっている。

* インフルエンザワクチン接種終了

入居者・職員全員実施する。

* 研修会

○ 外部研修

認知症介護基礎研修・・・1名参加

○ 内部研修

看取り勉強会・・・7名参加

ホームで1名看取りの対象の方がおられる。ホームでの看取りについて、希望があり、主治医の協力も得られた為、職員体制や個々の職員の思い等聞き、対応していく事になった。看取り経験がない職員もいるため、勉強会実施した。

グループホームでは各職種による分担等がない為、対応や書類等負担や心配な面もあるが、看取りと重々しく考えず、今まで通りの暮らしを続けていくという感覚で対応している。

【参加者の方より】

○ 看取りを行うとそれに合った報酬はあるのか。



看取り加算があるが、看取り契約後すぐに加算がつくわけではない。加算より、書類等の手間の負担も多く、グループホームのように少人数の職員で対応していくには、日々の対応や主治医や家族の方との連携、職員体制やフォロー、限られた職員で行う事が多く、厳しい面もある。そのような現状はあるが長年暮らしてこられた方を、慣れたホームで看っていくこと、今まで通りの環境で暮らしを続けることが出来るようにという気持ちで協力しながら看っている。

○行事も少しずつ開催できるようになってきた。益田市も産業祭が万葉公園で開催され、石見空港マラソンも今年は開催出来た。参加者 1900 人と活気があり良かった。

地域行事も少しずつ開催予定である。

11月28日 ふれあい健康教室

元気体操と「8050問題」についてお話がある

12月5日 下本郷防災研修会

起震車体験会と災害避難講演会

12月 しめ縄作り・・・現在検討中

毎年子供から大人まで 100 名～130 名の参加者がある。

孫と一緒に参加される方もおり、幅広い参加者となり大盛況である。



コロナ前はホームの入居者の方も参加され、大変喜ばれていた。まだ交流は出来ない為、参加は難しいが、コロナが落ち着き参加できるようになると良い。

○昔からの伝統行事を子供たちに伝える総合学習についての取り組みで生徒からの相談を受け助言したり、ふるさと教室で雪舟祭りの歴史について話をしたりしている。

○ふれあい会館で補助金を使用し、体温センサーや消毒液等を購入した。

消毒液は手すり等に噴霧するだけで 10 時間消毒効果がある物を購入した。

拭く手間が省ける。

(ホームより)

地域行事は入居者の方も楽しみにされ、参加する事で活気も出て、地域の方が気軽に声をかけて下さり、大変喜ばれていた。コロナ禍で外出や地域行事の参加が出来ないので、早く参加できるようになることを願っている。